OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	中井竹山の文章観 : 懐徳堂の「博約並進」
Author(s)	佐藤, 由隆
Citation	懐徳堂研究. 2020, 11, p. 25-44
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79010
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

論文内容の訂正とお詫び

本号（『懐徳堂研究』第 11 号）に掲載されました下記論文におきまして、校正終了後に重大な誤りが発覚したため、編集責任者の了解を得た上で、以下の内容に訂正させて頂きます。

関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

【訂正箇所】

佐藤由隆「中井竹山の文章観」

43 頁　注（17）の全文

【訂正内容】

五井蘭洲が崎門学派や徂徠学派とは異なる文章観を持っていたことは、清水則夫も指摘している。清水氏は、徂徠学派の登場以後の状況を、「文」と「道徳」の分裂として整理したうえで、その状況を克服する可能性を示した人物に五井蘭洲を挙げる。詳しくは同氏「十八世紀前半の朱子学者について――徂徠以後の朱子学者――」（論集刊行委員会編『朱子学とその展開――土田健次郎教授退職記念論集――』（汲古書院、2020 年）所収）を参照。

著者拝